

**基本目標 6 人々が集い、にぎわいのある快適なまち**  
**政策 6-1 鉄道駅を中心とした魅力あるまちをつくる**

**施策 6-1-1 魅力とにぎわいのある中心市街地の創出**

**【施策の成果指標】**

	現状値 (R3)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標値 令和9年度
春日部駅周辺は、快適で便利だと思う市民の割合	40.2%	44.0%	45.9%	47.8%	49.7%	51.6%
「魅力とにぎわいのある中心市街地の創出」満足度スコア	2.536	2.561	2.586	2.611	2.636	2.663

**【施策における取組と事業】**

施策における取組		事業
1	春日部駅付近連続立体交差事業の推進	連続立体交差推進事業
		中心市街地整備事務
2	中心市街地まちづくりの推進	春日部駅西口環境整備事業
		官民連携まちづくり推進事業

事業番号	169	担当課	鉄道高架推進課
事業名	連続立体交差推進事業	重点 P	重点④
		令和 7 年度 予算額	1,095,112 千円

【施策における取組】

施策に おける取組	春日部駅付近連続立体交差事業の推進
--------------	-------------------

《事業の目的と概要等》

事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 連続立体交差事業は、埼玉県が事業主体となり、東武伊勢崎線（スカイツリーライン）および東武野田線（アーバンパークライン）の春日部駅付近の鉄道を高架化するものであり、10 か所の踏切を除却し、踏切における渋滞や事故を解消するなど都市交通の円滑化を図る事業です。</li> <li>◆ 本事業は、連続立体交差事業の推進を図るとともに、鉄道高架と一体となって、都市機能の集積や、機能的な都市基盤を整備し、中心市街地の活性化を図るものです。</li> </ul>
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 春日部駅付近連続立体交差事業の施行者は、埼玉県です。</li> <li>◆ 都市計画事業の種類および名称は、春日部都市計画都市高速鉄道事業東武鉄道伊勢崎線および東武鉄道野田線です。</li> <li>◆ 事業施行期間は、令和元年 12 月 17 日から令和 14 年 3 月 31 日までです。</li> <li>◆ 事業地は、埼玉県春日部市粕壁字浜川戸および字八木崎、粕壁一丁目、粕壁三丁目、粕壁四丁目、中央一丁目並びに南一丁目地内です。</li> </ul>
事業効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 春日部市中心市街地まちづくり計画の推進と計画内容の周知が図られます。</li> <li>◆ 事業が完成することにより、市民や商業者の東西通行が円滑となります。</li> <li>◆ 春日部駅周辺が、より拠点性の高い快適な中心市街地となります。</li> </ul>

《年度別計画と指標》

年度別計画	取組内容				R5	R6	R7	R8	R9
	春日部駅付近連続立体交差事業の推進				▶				
事業の 成果指標	関係機関（国、県、鉄道事業者）との協 議回数		現状値（R3）		23 回				
			目標値（R9）		36 回				
目標値	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度				
	36 回	36 回	36 回	36 回	36 回				

《SDGs、総合戦略・国土強靱化地域計画との関連》

事業に関連 する SDGs	 		
総合戦略	●	国土強靱化	1-1、1-3、3-1、3-2、3-3、7-1、8-2、8-3

事業番号	170	担当課	都市計画課
事業名	中心市街地整備事務	重点 P	重点④
		令和 7 年度 予算額	1,650 千円

【施策における取組】

施策に おける取組	中心市街地まちづくりの推進
--------------	---------------

《事業の目的と概要等》

事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 中心市街地では、春日部駅付近連続立体交差事業などの都市基盤整備の進捗とあわせ、飲食店などの出店ニーズが高まっています。</li> <li>◆ 市民のまちづくりに対する考え方や価値観にも変化が生まれ、「まちづくりに参加したい」という方が増えています。</li> <li>◆ まちづくりのニーズや課題、疑問を把握し、市民が主体となったまちづくり活動を支援することで、集約型都市構造（コンパクトシティ）の形成を推進します。</li> </ul>
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 中央一丁目地区内に土地・建物を所有する権利者の方々と連携し、市街地再開発事業の早期実施に向けて取り組んでいます。</li> <li>◆ リノベーションや共同化建替えなど、多様化するまちづくり手法の仕組やメリット・デメリットについて理解を深めるため、セミナーや意見交換会を開催します。</li> </ul>
事業効果	◆ 中心市街地の活力創出や都市機能の集積、防災機能の向上などにつながります。

《年度別計画と指標》

取組内容		R5	R6	R7	R8	R9
年度別計画	権利者同士のつながりの場（権利者の会）を開催	[進捗状況]				
	市街地再開発事業の都市計画決定手続き準備				[進捗状況]	
	再開発準備組合の設立、活動		[進捗状況]			
	セミナー、意見交換会の開催	[進捗状況]				
事業の 成果指標	再開発事業施行者との協議回数	現状値 (R3)	25 回			
		目標値 (R9)	25 回			
目標値	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	
	25 回	25 回	25 回	25 回	25 回	

《SDGs、総合戦略・国土強靱化地域計画との関連》

事業に関連する SDGs			
総合戦略	●	国土強靱化	1-1、1-3、3-1、3-2、3-3、7-1、8-2、8-3

事業番号	171	担当課	道路建設課
事業名	春日部駅西口環境整備事業	重点 P	重点④
		令和 7 年度 予算額	80,850 千円 (R6→R7 繰越 80,850 千円を含む)

【施策における取組】

施策に おける取組	中心市街地まちづくりの推進
--------------	---------------

《事業の目的と概要等》

事業目的	◆ 春日部駅の周辺地域における持続可能な都市機能を再構築するため、都市計画道路武里内牧線（市役所通り）において、環境に配慮した自動車に頼らない回遊ネットワークを整備するものです。
事業概要	◆ 都市計画道路武里内牧線（市役所通り）について、新本庁舎前からふじ通りとの交差点までの延長約 680m の区間で、道路の整備工事を推進するものです。
事業効果	◆ 環境に配慮した自動車に頼らない回遊ネットワークの整備により、快適で便利な道路空間の構築と中心市街地へのアクセス向上が図られます。

《年度別計画と指標》

年度別計画	取組内容				R5	R6	R7	R8	R9
	道路整備工事					▶			
事業の 成果指標	整備延長の進捗率				現状値 (R3)	24.0% (165m/680m)			
					目標値 (R9)	100% (680m/680m)			
目標値	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度				
	24.0%	40.0%	60.0%	60.0%	100%				

《SDGs、総合戦略・国土強靱化地域計画との関連》

事業に関連する SDGs	 			
総合戦略	●	国土強靱化	1-1、1-3、3-1、3-2、3-3、7-1、8-2、8-3	

事業番号	172	担当課	都市計画課
事業名	官民連携まちづくり推進事業	重点 P	重点④
		令和 7 年度 予算額	8,809 千円

【施策における取組】

施策に おける取組	中心市街地まちづくりの推進
--------------	---------------

《事業の目的と概要等》

事業目的	◆ 官民が連携し、民間主体のまちづくりの取組を推進していくことで、多様な主体が新しいまちづくりの担い手となり、新たな活動を展開することで、おもに中心市街地におけるにぎわいの創出などを図るものです。
事業概要	◆ エリアの将来像や課題解決について話し合う場である「エリアプラットフォーム」を構築します。 ◆ 官民連携の具体的な取組をまとめた「未来ビジョン」を策定します。 ◆ 未来ビジョンでとりまとめた目標の達成に向けて、社会実験を繰り返し、にぎわいのある中心市街地の創出を図ります。
事業効果	◆ 官民連携まちづくりを推進し、中心市街地が抱えている課題を解決することで、市民の視点に立った魅力的なまちづくりやエリア価値の向上が図られ、にぎわいの創出などが期待されます。

《年度別計画と指標》

年度別計画	取組内容			R5	R6	R7	R8	R9
		エリアプラットフォームの構築、未来ビジョンの策定					■	
	社会実験の実施							■
事業の 成果指標	市民が主体となったまちづくりの推進		現状値 (R6)	26.3%				
	に満足している割合 (市民意識調査)		目標値 (R9)	32.3%				
目標値	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度			
			28.3%	30.3%	32.3%			

《SDGs、総合戦略・国土強靱化地域計画との関連》

事業に関連する SDGs	 
総合戦略	● 国土強靱化 1-1、3-1、8-6

※R7 中間見直しで追加

**施策 6-1-2 鉄道駅周辺の更新・再生**

**【施策の成果指標】**

		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標値 令和9年度
	現状値 (R3)					
安全で良好な市街地の形成（鉄道駅周辺の更新・再生）に満足している市民の割合	51.9%	54.8%	56.3%	57.8%	59.2%	60.7%
鉄道駅周辺のバリアフリー化率	38.5%	53.8%	61.5%	69.2%	76.9%	84.6%

**【施策における取組と事業】**

施策における取組	
1	既存ストック再生への支援促進
2	駅周辺への効果的な土地利用と誘導促進
3	地域の中心となる駅周辺まちづくりの推進

事業
北春日部駅周辺地区土地区画整理推進事業
企業誘致推進事業【再掲】
商店街活性化推進事業費補助金【再掲】
鉄道整備促進事業

事業番号	173	担当課	まちづくり推進課
事業名	北春日部駅周辺地区土地区画整理推進事業	重点P	重点④
		令和7年度 予算額	9,048千円

【施策における取組】

施策に おける取組	駅周辺への効果的な土地利用と誘導促進
--------------	--------------------

《事業の目的と概要等》

事業目的	◆ 北春日部駅周辺地区土地区画整理事業については、2022年度（令和4年度）、市街化区域編入などの都市計画変更告示や組合設立の認可により事業化され、住・商・職が近接したコンパクトで魅力的なにぎわいのあるスマートシティを形成し「子育てが楽しい、元気でいきいきと笑顔で暮らせるまち」を創出します。
事業概要	◆ 北春日部駅周辺地区では、土地区画整理組合が設立され、本格的に事業着手されました。コンパクトで魅力的なまちの早期完成を目指します。
事業効果	◆ 新たな都市的土地利用や拠点整備などを推進することで、第2次春日部市総合振興計画および春日部市SDGs未来都市計画に基づく、職と住居が近接したコンパクトで「だれからも選ばれる、魅力的でにぎわいあるまち」を実現します。

《年度別計画と指標》

年度別計画	取組内容				R5	R6	R7	R8	R9
	造成工事（助成金交付）				▶				
事業の 成果指標	造成工事の進捗率			現状値（R3）	—				
	※R7 中間見直しで指標変更			目標値（R9）	49.7%				
目標値	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度				
			16.2%	31.8%	49.7%				

《SDGs、総合戦略・国土強靱化地域計画との関連》

事業に関連するSDGs	  		
総合戦略	●	国土強靱化	1-1、1-3、3-1、3-2、3-3、8-2、8-3

事業番号	174	担当課	商工観光課
事業名	企業誘致推進事業【再掲】	重点 P	重点③・④
		令和 7 年度 予算額	16,919 千円

【施策における取組】

施策に おける取組	駅周辺への効果的な土地利用と誘導促進
--------------	--------------------

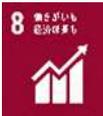
《事業の目的と概要等》

事業目的	◆ 企業立地を促進することにより、産業の振興および雇用機会の拡大並びに地域の活性化を図るものです。
事業概要	<p>◆ 企業立地を促進するため、企業立地支援、企業アンケート調査、企業訪問、各種情報発信、宅建協会と協力した不動産のマッチングなどを行います。</p> <p>◆ 都市計画法第 34 条第 12 号に定められた産業指定区域に工場等を新設した者で、奨励措置の指定要件に該当したのに対し、操業開始以降の最初の課税年度から 3 年間で限度として、当該年度に納付する固定資産税相当額に 10 割から 8 割を乗じた額および水道加入分担金相当額に 5 割を乗じた額を予算の範囲内で企業誘致奨励金として交付するものです。</p> <p>※ なお、庄和インター周辺地区の 1 2 号指定については、令和 7 年度末で解除されることから、中心市街地における企業誘致についても推進します。</p>
事業効果	◆ 企業訪問や企業誘致リーフレットの作成等により、企業に本市の情報を周知することで、企業が工場等を立地する際の候補地選定にあたり、本市の優位性を理解していただけます。

《年度別計画と指標》

年度別計画	取組内容		R5	R6	R7	R8	R9
	企業立地支援						
企業立地に関するアンケート、情報発信など							
事業の 成果指標	適用地域における土地利用率		現状値 (R3)		79.0%		
	※R7 中間見直しで目標値変更		目標値 (R9)		87.0%		
目標値	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度		
	81.0%	83.0%	85.0%	86.0%	87.0%		

《SDGs、総合戦略・国土強靱化地域計画との関連》

事業に関連する SDGs	 		
総合戦略	●	国土強靱化	(6-1)、(6-2)、(8-6)

事業番号	175	担当課	商工観光課
事業名	商店街活性化推進事業費補助金【再掲】	重点 P	重点③・④
		令和 7 年度 予算額	15,924 千円

【施策における取組】

施策に おける取組	駅周辺への効果的な土地利用と誘導促進
--------------	--------------------

《事業の目的と概要等》

事業目的	◆ 商店街が自主的に行う取組を支援することにより、地域における消費の拡大および商店街の活性化を図るため、補助金を交付するものです。
事業概要	◆ 各商店街が自主的に実施するソフト事業に補助金を交付します。
事業効果	◆ 商店会等が行う消費者の購買意欲を高めるようなイベント等に係る費用の一部を支援することにより、商店街への来街者を増加させ、地域における消費の拡大および商店街の活性化を図ることができます。

《年度別計画と指標》

年度別計画	取組内容				R5	R6	R7	R8	R9
	補助金交付				▶				
事業の 成果指標	商店街が実施するイベントや売り出し件数		現状値 (R3)		24 件				
			目標値 (R9)		34 件				
目標値	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度				
	26 件	28 件	30 件	32 件	34 件				

《SDGs、総合戦略・国土強靱化地域計画との関連》

事業に関連する SDGs	 				
総合戦略	●	国土強靱化	1-1、1-3、3-1、3-2、3-3、(5-1)、(5-5)、8-2、(8-6)		

事業番号	176	担当課	都市計画課
事業名	鉄道整備促進事業	重点P	—
		令和7年度 予算額	335千円

【施策における取組】

施策に おける取組	地域の中心となる駅周辺まちづくりの推進
--------------	---------------------

《事業の目的と概要等》

事業目的	◆ 加入している協議会等を通じて、関係団体に対して要望活動等を行い、沿線地域の発展および鉄道利用者の利便性の向上を図ります。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 沿線地域の発展と鉄道利用者の利便性の向上を図るため、関係団体に対して鉄道整備に関する要望活動等を行うものです。</li> <li>◆ 本市ほか3市2町により、東武伊勢崎線・野田線整備促進協議会を構成し、埼玉県、千葉県および2つの鉄道事業者（東武鉄道（株）、東日本旅客鉄道（株））へ要望活動を実施しています。</li> <li>◆ 事業内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 総会（1回／年）</li> <li>(2) 勉強会（1回／年）</li> <li>(3) 他自治体視察（1回／年）</li> <li>(4) 関係団体（2鉄道事業者・2県）への要望活動（各1回／年）</li> </ul> </li> <li>◆ 構成団体（4市2町）春日部市、さいたま市、越谷市、野田市、宮代町、杉戸町</li> </ul>
事業効果	◆ 関係団体への要望活動等を行うことにより、沿線地域の発展と、鉄道利用者の利便性の向上が図られます。

《年度別計画と指標》

年度別計画	取組内容				R5	R6	R7	R8	R9
		鉄道事業者等に対する要望活動				▶			
事業の 成果指標	関係機関（県、鉄道事業者）への要望活動回数		現状値（R3）		4回				
			目標値（R9）		4回				
目標値	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度				
	4回	4回	4回	4回	4回				

《SDGs、総合戦略・国土強靱化地域計画との関連》

事業に関連するSDGs				
総合戦略	●	国土強靱化	1-1、1-3、3-1、3-2、3-3、(5-5)、8-2、8-3	

## 政策 6 - 2 地域の特色を生かした選ばれるまちをつくる

### 施策 6-2-1 計画的な土地利用の推進

#### 【施策の成果指標】

	現状値 (R3)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標値 令和9年度
		安全で良好な市街地の形成（計画的な土地利用の推進）に満足している市民の割合	61.4%	63.4%	65.4%	67.4%
庄和 I.C. 周辺および広域幹線道路の沿道における開発許可件数	5件 ／年間	5件 ／年間	5件 ／年間	5件 ／年間	5件 ／年間	5件 ／年間

#### 【施策における取組と事業】

施策における取組		事業
1	多極ネットワーク型コンパクトシティの形成	空家等対策推進事業
		北春日部駅周辺地区土地区画整理推進事業【再掲】
2	快適な住環境整備の促進	赤沼・銚子口地区産業基盤整備事業
		企業誘致推進事業【再掲】
3	交通の利便性に応じた産業集積土地利用の推進	

事業番号	177	担当課	建築課
事業名	空家等対策推進事業	重点 P	重点④・⑤
		令和 7 年度 予算額	7,654 千円

【施策における取組】

施策に おける取組	多極ネットワーク型コンパクトシティの形成
--------------	----------------------

《事業の目的と概要等》

事業目的	◆ 適切な管理が行われていない空家等が、防災、衛生、景観等の面で、地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼすおそれがあることから空家等の改善を行います。
事業概要	◆ 空家等対策計画に基づき空家等に関する施策を総合的に実行していきます。 ・空家等防止（建物の適切な管理）の啓発 ・空家等利活用の検討 ・空家等所有者に対する改善に向けた助言や指導、勧告など
事業効果	◆ 市民等からの相談に応じる形での受動的な対策にとどまらず、空家等対策を計画的に行っていく能動的な対策を講じることにより、空家等の増加抑制や老朽危険空家等の除却、空家等利活用など予防やまちづくりの視点からも効果が期待できます。

《年度別計画と指標》

年度別計画	取組内容		R5	R6	R7	R8	R9
		空き家リノベーション助成制度					
	空き家バンク登録						
	空家等対策計画策定						
事業の 成果指標	安心して暮らせる良好な街並みの満足度（市民意識調査）		現状値（R3）	83.0%			
			目標値（R9）	85.0%			
目標値	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度		
	83.4%	83.8%	84.2%	84.6%	85.0%		

《SDGs、総合戦略・国土強靱化地域計画との関連》

事業に関連する SDGs			
総合戦略	●	国土強靱化	(3-1)

事業番号	178	担当課	まちづくり推進課
事業名	北春日部駅周辺地区土地区画整理推進事業【再掲】	重点P	重点④
		令和7年度 予算額	9,048千円

【施策における取組】

施策に おける取組	多極ネットワーク型コンパクトシティの形成 快適な住環境整備の促進
--------------	-------------------------------------

《事業の目的と概要等》

事業目的	◆ 北春日部駅周辺地区土地区画整理事業については、2022年度（令和4年度）、市街化区域編入などの都市計画変更告示や組合設立の認可により事業化され、住・商・職が近接したコンパクトで魅力的なにぎわいのあるスマートシティを形成し「子育てが楽しい、元気でいきいきと笑顔で暮らせるまち」を創出します。
事業概要	◆ 北春日部駅周辺地区では、土地区画整理組合が設立され、本格的に事業着手されました。コンパクトで魅力的なまちの早期完成を目指します。
事業効果	◆ 新たな都市的土地利用や拠点整備などを推進することで、第2次春日部市総合振興計画および春日部市SDGs未来都市計画に基づく、職と住居が近接したコンパクトで「だれからも選ばれる、魅力的でにぎわいあるまち」を実現します。

《年度別計画と指標》

年度別計画	取組内容				R5	R6	R7	R8	R9
	造成工事（助成金交付）				▶				
事業の 成果指標	造成工事の進捗率		現状値（R3）		—				
	※R7 中間見直しで指標変更		目標値（R9）		49.7%				
目標値	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度				
			16.2%	31.8%	49.7%				

《SDGs、総合戦略・国土強靱化地域計画との関連》

事業に関連するSDGs	  		
総合戦略	●	国土強靱化	3-2、3-3、6-1、7-1、7-2、8-2、8-3、8-5

事業番号	179	担当課	まちづくり推進課
事業名	赤沼・銚子口地区産業基盤整備事業	重点 P	重点③
		令和 7 年度 予算額	8,166 千円

【施策における取組】

施策に おける取組	交通の利便性に応じた産業集積土地利用の推進
--------------	-----------------------

《事業の目的と概要等》

事業目的	◆ 第 2 次春日部市総合振興計画において、国道 4 号バイパスや東埼玉道路などの広域幹線道路の結節点周辺を「産業集積検討ゾーン」として位置づけており、交通の利便性を生かした新たな産業拠点の形成に向けた検討が求められているため、産業・流通系土地利用の推進を図ります。
事業概要	◆ 国道 4 号東埼玉道路沿道となる赤沼・銚子口地区において、埼玉県と共同して既存の豊野工業団地の拡張としての産業団地整備を目指します。
事業効果	◆ 国道 4 号東埼玉道路沿道という交通の利便性を生かし、既存の工業団地の拡張としての産業団地を推進することで、新たな雇用を生み出し、財政基盤の強化が見込まれます。

《年度別計画と指標》

		取組内容				
年度別計画	事業実施に向けた県との調整	R5	R6	R7	R8	R9
	権利者との合意形成					
事業の 成果指標	権利者からの合意書取得件数	現状値 (R6)		32%		
	※R7 中間見直しで指標変更	目標値 (R9)		100%		
目標値	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	
			75%	100%	—	

《SDGs、総合戦略・国土強靱化地域計画との関連》

事業に関連する SDGs	  		
総合戦略	●	国土強靱化	3-2、3-3、6-1、7-1、7-2、8-2、8-3、8-5

事業番号	180	担当課	商工観光課
事業名	企業誘致推進事業【再掲】	重点 P	重点③・④
		令和 7 年度 予算額	16,919 千円

【施策における取組】

施策に おける取組	交通の利便性に応じた産業集積土地利用の推進
--------------	-----------------------

《事業の目的と概要等》

事業目的	◆ 企業立地を促進することにより、産業の振興および雇用機会の拡大並びに地域の活性化を図るものです。
事業概要	<p>◆ 企業立地を促進するため、企業立地支援、企業アンケート調査、企業訪問、各種情報発信、宅建協会と協力した不動産のマッチングなどを行います。</p> <p>◆ 都市計画法第 34 条第 12 号に定められた産業指定区域に工場等を新設した者で、奨励措置の指定要件に該当したものに対し、操業開始以降の最初の課税年度から 3 年間を限度として、当該年度に納付する固定資産税相当額に 10 割から 8 割を乗じた額および水道加入分担金相当額に 5 割を乗じた額を予算の範囲内で企業誘致奨励金として交付するものです。</p> <p>※ なお、庄和インター周辺地区の 1 2 号指定については、令和 7 年度末で解除されることから、中心市街地における企業誘致についても推進します。</p>
事業効果	◆ 企業訪問や企業誘致リーフレットの作成等により、企業に本市の情報を周知することで、企業が工場等を立地する際の候補地選定にあたり、本市の優位性を理解していただけます。

《年度別計画と指標》

年度別計画	取組内容		R5	R6	R7	R8	R9
	企業立地支援						
企業立地に関するアンケート、情報発信など							
事業の 成果指標	適用地域における土地利用率		現状値 (R3)		79.0%		
	※R7 中間見直しで目標値変更		目標値 (R9)		87.0%		
目標値	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度		
	81.0%	83.0%	85.0%	86.0%	87.0%		

《SDGs、総合戦略・国土強靱化地域計画との関連》

事業に関連する SDGs			
総合戦略	●	国土強靱化	6-1、(6-2)、8-6

**施策 6-2-2**

**あらゆる世代が住みやすい活力あるまちの創出**

**【施策の成果指標】**

	現状値 (R3)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標値 令和9年度
「世代がつながる居住環境の推進」に満足している市民の割合	67.5%	68.5%	69.5%	70.5%	71.5%	72.5%
空き家リノベーションに関する申請件数	27件	28件	29件	30件	31件	32件

**【施策における取組と事業】**

施策における取組	
1	住宅ストックの利活用の推進
2	安全で快適な居住環境の整備
3	良好な景観と地域に応じたまちづくりの促進

事業
空家等対策推進事業【再掲】
ふれあい家族住宅購入奨励事業
結婚新生活支援事業
市営住宅維持補修事業
耐震改修等事業補助金
景観まちづくり事業
官民連携まちづくり推進事業【再掲】

事業番号	181	担当課	建築課
事業名	空家等対策推進事業【再掲】	重点 P	重点④・⑤
		令和 7 年度 予算額	7,654 千円

【施策における取組】

施策に おける取組	住宅ストックの利活用の推進
--------------	---------------

《事業の目的と概要等》

事業目的	◆ 適切な管理が行われていない空家等が、防災、衛生、景観等の面で、地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼすおそれがあることから空家等の改善を行います。
事業概要	◆ 空家等対策計画に基づき空家等に関する施策を総合的に実行していきます。 ・空家等防止（建物の適切な管理）の啓発 ・空家等利活用の検討 ・空家等所有者に対する改善に向けた助言や指導、勧告など
事業効果	◆ 市民等からの相談に応じる形での受動的な対策にとどまらず、空家等対策を計画的に行っていく能動的な対策を講じることにより、空家等の増加抑制や老朽危険空家等の除却、空家等利活用など予防やまちづくりの視点からも効果が期待できます。

《年度別計画と指標》

年度別計画	取組内容		R5	R6	R7	R8	R9
		空き家リノベーション助成制度					
	空き家バンク登録						
	空家等対策計画策定						
事業の 成果指標	安心して暮らせる良好な街並みの満足度（市民意識調査）		現状値（R3）	83.0%			
			目標値（R9）	85.0%			
目標値	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度		
	83.4%	83.8%	84.2%	84.6%	85.0%		

《SDGs、総合戦略・国土強靱化地域計画との関連》

事業に関連する SDGs			
総合戦略	●	国土強靱化	1-1、3-1、8-6

事業番号	182	担当課	建築課
事業名	ふれあい家族住宅購入奨励事業	重点 P	重点⑤
		令和 7 年度 予算額	20,300 千円

【施策における取組】

施策に おける取組	安全で快適な居住環境の整備
--------------	---------------

《事業の目的と概要等》

事業目的	◆ 親世帯と子世帯が近くに住むことで親世帯にとって日常的な支援、子世帯にとっては子育てに関する支援など、それぞれが経済的、精神的に支え合うことから、三世帯での近居・同居を促進するとともに、転入者の増加、転出者の抑止を図ります。
事業概要	◆ 市内で、子世帯と親世帯が近居または同居するために、初めて住宅を取得した世帯に対し、住宅取得の際に登記費用として司法書士等に支払った額の一部を市内共通商品券で交付します。
事業効果	◆ 親世帯、子世帯が近居することで、それぞれが経済的、精神的に支え合うことができる家族形態を形成することができ、定住促進策等として一定の効果が期待できます。 ◆ 市内共通商品券で交付することにより、市内の商業活性化対策の一つとなります。

《年度別計画と指標》

年度別計画	取組内容				R5	R6	R7	R8	R9
	ふれあい家族住宅購入奨励事業					▶			
広報かすかべ掲載、パンフレット配布					▶				
事業の 成果指標	三世帯近居をはじめた世帯／年度			現状値 (R3)	141 件				
				目標値 (R9)	146 件				
目標値	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度				
	142 件	143 件	144 件	145 件	146 件				

《SDGs、総合戦略・国土強靱化地域計画との関連》

事業に関連する SDGs			
総合戦略	●	国土強靱化	1-1、3-1、8-6

事業番号	183	担当課	建築課
事業名	結婚新生活支援事業	重点 P	重点⑤
		令和 7 年度 予算額	6,000 千円

【施策における取組】

施策に おける取組	安全で快適な居住環境の整備
--------------	---------------

《事業の目的と概要等》

事業目的	◆ 結婚や子育てについての希望をかなえことができる環境をつくり、少子化対策の強化および移住・定住を促進します。
事業概要	◆ 結婚に伴う新生活を経済的に支援することにより、結婚や子育てについての希望をかなえることができる環境をつくり、本市における少子化対策の強化および市への移住促進に資することを目的として、新規に婚姻した世帯に対して、住居費および引越費用の一部を補助します。
事業効果	◆ 新規に婚姻した世帯に対して、住居費および引越費用の一部を補助することで、少子化対策の強化および移住・定住の促進を図ります。

《年度別計画と指標》

年度別計画	取組内容				R5	R6	R7	R8	R9
	結婚新生活支援事業					▶			
広報かすかべ掲載、パンフレット配布					▶				
事業の 成果指標	地域に応援されていると感じた世帯の 割合		現状値 (R3)		58.3%				
			目標値 (R9)		63.3%				
目標値	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度				
	59.3%	60.3%	61.3%	62.3%	63.3%				

《SDGs、総合戦略・国土強靱化地域計画との関連》

事業に関連 する SDGs			
総合戦略	●	国土強靱化	1-1、3-1、8-6

事業番号	184	担当課	建築課
事業名	市営住宅維持補修事業	重点 P	重点⑤
		令和 7 年度 予算額	105,853 千円

【施策における取組】

施策に おける取組	安全で快適な居住環境の整備
--------------	---------------

《事業の目的と概要等》

事業目的	◆ 既存市営住宅の維持補修および改修を行い、入居者の居住水準の維持および向上に努めるものです。
事業概要	◆ 「春日部市市営住宅長寿命化計画」に基づき、経年により老朽化や機能低下した住宅の改修を行うため、設計、工事を実施するものです。
事業効果	◆ 建物の長寿命化により建て替えなどの更新コストが削減されます。また、予防保全的な改修が行われることによりライフサイクルコストが縮減されます。

《年度別計画と指標》

年度別計画	取組内容		R5	R6	R7	R8	R9
		藤塚根郷住宅外壁改修工事		[Progress bar from R5 to R7]			
	藤塚根郷住宅給水設備改修工事				[Progress bar from R7 to R8]		
	西金野井住宅給水設備改修工事					[Progress bar from R8 to R9]	
事業の 成果指標	長寿命化改修の実施件数（累計）		現状値（R3）		14 件		
			目標値（R9）		25 件		
目標値	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度		
	16 件	17 件	20 件	23 件	25 件		

《SDGs、総合戦略・国土強靱化地域計画との関連》

事業に関連する SDGs	 		
総合戦略	●	国土強靱化	1-1、3-1、8-6

事業番号	185	担当課	建築課
事業名	耐震改修等事業補助金	重点 P	重点⑤
		令和 7 年度 予算額	10,050 千円

【施策における取組】

施策に おける取組	安全で快適な居住環境の整備
--------------	---------------

《事業の目的と概要等》

事業目的	◆ 地震災害から市民の生命・財産を守り、災害に強いまちづくりを推進するため、既存建築物の耐震化を推進することを目的とします。
事業概要	◆ 1981年（昭和56年）5月31日以前に工事着手し、建築された旧耐震基準の建築物に対して、耐震化に関する啓発活動を実施するとともに、住宅などの耐震診断または耐震改修に要する費用に対して補助金を交付することにより、既存建築物の耐震化を支援します。
事業効果	◆ 住宅などの耐震化率の向上により、地震発生時の被害の軽減や被災後の速やかな復旧復興などの効果が期待されます。

《年度別計画と指標》

年度別計画	取組内容				R5	R6	R7	R8	R9
	耐震診断、耐震改修等の補助金交付					▶			
建築物耐震改修促進計画に基づく耐震化啓発活動					▶▶				
事業の 成果指標	住宅の耐震化率の向上				現状値 (R3)	86.3%			
					目標値 (R9)	95.0%			
目標値	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度				
	91.2%	93.1%	95.0%	95.0%	95.0%				

《SDGs、総合戦略・国土強靱化地域計画との関連》

事業に関連する SDGs				
総合戦略	●	国土強靱化	1-1、3-1、8-6	

事業番号	186	担当課	都市計画課
事業名	景観まちづくり事業	重点P	—
		令和7年度 予算額	841千円

【施策における取組】

施策に おける取組	良好な景観と地域に応じたまちづくりの促進
--------------	----------------------

《事業の目的と概要等》

事業目的	◆ 本市の歴史・文化や河川・田園風景など、地域に残る特性や資源を守り育てることを目的として、地域住民の景観意識醸成を図るものです。
事業概要	◆ 景観の形成を促進するため、公共事業を中心に景観形成に関するアドバイザーや景観絵画コンクールを実施します。 ◆ 市内の国道および県道並びに市道のはり紙、はり札、立看板の除却を行います。
事業効果	◆ 歴史・自然・文化など、良好な景観資源の保全・活用を図ることにより、次世代の市民等に受け継がれ、魅力あふれる快適な都市の創造に寄与します。

《年度別計画と指標》

年度別計画	取組内容				R5	R6	R7	R8	R9
		景観アドバイザー							
	景観絵画コンクール								
	違反簡易広告物除却								
事業の 成果指標	違反簡易広告物の除却件数		現状値 (R3)		2,042 件				
	※R7 中間見直しで目標値変更		目標値 (R9)		310 件				
目標値	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度				
	1,900 件	1,700 件	450 件	380 件	310 件				

《SDGs、総合戦略・国土強靱化地域計画との関連》

事業に関連するSDGs			
総合戦略	●	国土強靱化	1-1、3-1、8-6

事業番号	187	担当課	都市計画課
事業名	官民連携まちづくり推進事業【再掲】	重点 P	重点④
		令和7年度 予算額	8,809千円

【施策における取組】

施策に おける取組	良好な景観と地域に応じたまちづくりの促進
--------------	----------------------

《事業の目的と概要等》

事業目的	◆ 官民が連携し、民間主体のまちづくりの取り組みを推進していくことで、多様な主体が新しいまちづくりの担い手となり、新たな活動を展開することで、おもに中心市街地におけるにぎわいの創出などを図るものです。
事業概要	◆ エリアの将来像や課題解決について話し合う場である「エリアプラットフォーム」を構築します。 ◆ 官民連携の具体的な取組をまとめた「未来ビジョン」を策定します。 ◆ 未来ビジョンでとりまとめた目標の達成に向けて、社会実験を繰り返し、にぎわいのある中心市街地の創出を図ります。
事業効果	◆ 官民連携まちづくりを推進し、中心市街地が抱えている課題を解決することで、市民の視点に立った魅力的なまちづくりやエリア価値の向上が図られ、にぎわいの創出などが期待されます。

《年度別計画と指標》

年度別計画	取組内容			R5	R6	R7	R8	R9
		エリアプラットフォームの構築、未来ビジョンの策定						
	社会実験の実施							
事業の 成果指標	市民が主体となったまちづくりの推進		現状値 (R6)	26.3%				
	に満足している割合 (市民意識調査)		目標値 (R9)	32.3%				
目標値	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			
			28.3%	30.3%	32.3%			

《SDGs、総合戦略・国土強靱化地域計画との関連》

事業に関連するSDGs	 
総合戦略	● 国土強靱化 1-1、3-1、8-6

※R7 中間見直しで追加

## 政策 6 - 3 公共交通を便利に利用できるまちをつくる

### 施策 6-3-1 公共交通ネットワークの形成

#### 【施策の成果指標】

	現状値 (R3)	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	目標値 令和 9 年度
鉄道・バスの 1 日平均乗降 客数	139,000 人	139,000 人				
春バスの年間 利用者数	92,800 人	95,000 人	100,000 人	105,000 人	110,000 人	115,600 人

#### 【施策における取組と事業】

施策における取組		事業
1	春バスのより便利で持続可能な 運行の実現	コミュニティバス運行事業 鉄道整備促進事業【再掲】
2	各公共交通機関と連携した公共 交通ネットワークの形成と利用 促進	
3	コンパクトシティの形成に資す る公共交通の実現	

事業番号	188	担当課	都市計画課
事業名	コミュニティバス運行事業	重点P	—
		令和7年度 予算額	65,924千円

【施策における取組】

施策に おける取組	春バスのより便利で持続可能な運行の実現
	各公共交通機関と連携した公共交通ネットワークの形成と利用促進
	コンパクトシティの形成に資する公共交通の実現

《事業の目的と概要等》

事業目的	◆ 市内の各公共交通相互の連携により、公共交通ネットワークを強化し、公共交通全体の利用者数の維持や、収益性の向上を図り、持続可能な公共交通の実現を目指します。
事業概要	◆ 市コミュニティバス「春バス」各ルートの運行を行うものです。
事業効果	◆ 春バスの運行により、市内の鉄道・路線バス網を補完することで、市内各公共交通機関相互の連携や、効率的な運行、利用の促進を図ることができ、本市の公共交通における基本理念である「あらゆる世代にとって便利で、持続可能な公共交通ネットワークの実現」に寄与することが期待できます。

《年度別計画と指標》

		取組内容	R5	R6	R7	R8	R9
年度別計画	第四次春バス運行計画の策定		→				
	第四次春バス運行		→				
事業の 成果指標	春バスの公費負担率		現状値 (R3)	82.5%			
			目標値 (R9)	74.0%			
目標値	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
	80.7%	74.8%	74.5%	74.4%	74.0%		

《SDGs、総合戦略・国土強靱化地域計画との関連》

事業に関連するSDGs	 		
総合戦略	●	国土強靱化	1-3、3-1、3-2、3-3、5-5、8-2、8-3

事業番号	189	担当課	都市計画課
事業名	鉄道整備促進事業【再掲】	重点P	—
		令和7年度 予算額	335千円

【施策における取組】

施策に おける取組	各公共交通機関と連携した公共交通ネットワークの形成と利用促進
--------------	--------------------------------

《事業の目的と概要等》

事業目的	◆ 加入している協議会等を通じて、関係団体に対して要望活動等を行い、沿線地域の発展および鉄道利用者の利便性の向上を図ります。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 沿線地域の発展と鉄道利用者の利便性の向上を図るため、関係団体に対して鉄道整備に関する要望活動等を行うものです。</li> <li>◆ 本市ほか3市2町により、東武伊勢崎線・野田線整備促進協議会を構成し、埼玉県、千葉県および2つの鉄道事業者（東武鉄道（株）、東日本旅客鉄道（株））へ要望活動を実施しています。</li> <li>◆ 事業内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 総会（1回／年）</li> <li>(2) 勉強会（1回／年）</li> <li>(3) 他自治体視察（1回／年）</li> <li>(4) 関係団体（2鉄道事業者・2県）への要望活動（各1回／年）</li> </ul> </li> <li>◆ 構成団体（4市2町）春日部市、さいたま市、越谷市、野田市、宮代町、杉戸町</li> </ul>
事業効果	◆ 関係団体への要望活動等を行うことにより、沿線地域の発展と、鉄道利用者の利便性の向上が図られます。

《年度別計画と指標》

年度別計画	取組内容				R5	R6	R7	R8	R9
	鉄道事業者等に対する要望活動				▶				
事業の 成果指標	関係機関（県、鉄道事業者）への要望活動回数		現状値（R3）	4回					
			目標値（R9）	4回					
目標値	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度				
	4回	4回	4回	4回	4回				

《SDGs、総合戦略・国土強靱化地域計画との関連》

事業に関連するSDGs				
総合戦略	●	国土強靱化	(1-1)、1-3、3-1、3-2、3-3、5-5、8-2、8-3	

## 政策 6 - 4 活力ある都市基盤を将来につなげるまちをつくる

### 施策 6-4-1 安全で利便性の高い道路網の整備

#### 【施策の成果指標】

	現状値 (R3)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標値 令和9年度
「安心安全に 通行できる生 活道路の整 備」満足度ス コア	2.765	現状値 以上	現状値 以上	現状値 以上	現状値 以上	現状値 以上
補修が必要な 橋りょう修繕 率	0%	20.0%	40.0%	60.0%	80.0%	100%

#### 【施策における取組と事業】

施策における取組	
1	都市計画道路や広域幹線道路（国道・ 県道）の整備
2	幹線道路や生活道路の整備による都市 機能の向上
3	安全で快適な道路環境の維持・促進
4	橋りょうの整備と長寿命化修繕の推進

事業
武里内牧線整備事業
街路整備事務（東埼玉道路、大場大枝線等の整備 促進）
中央通り線整備事業
春日部駅東西連絡道路整備事業
道路整備事業
通学路安全対策・バリアフリー化事業
生活道路拡幅整備事業
道路施設維持管理事業
ふじ通り藤棚修景事業
道路施設更新事業
橋りょう整備事業
橋りょう長寿命化修繕事業

事業番号	190	担当課	道路建設課
事業名	武里内牧線整備事業	重点 P	—
		令和 7 年度 予算額	100,046 千円

【施策における取組】

施策に おける取組	都市計画道路や広域幹線道路（国道・県道）の整備
--------------	-------------------------

《事業の目的と概要等》

事業目的	◆ 都市交通の円滑化と広域的な道路ネットワークを形成することで、周辺地域へのアクセス性の向上および利便性の向上を図るとともに、武里駅周辺地域の活性化を図るものです。
事業概要	◆ 本路線は、春日部地域の中心部を通る南北の主要幹線道路で、大場地区の県道野田岩槻線を起点として、内牧地内の県道春日部菖蒲線を終点とする、総延長 7,010 メートル、幅員 16 メートルの都市計画道路です。 ◆ 現在は、県道野田岩槻線から武里小学校交差点付近までの区間、延長 820 メートルの整備を進めるものです。
事業効果	◆ 本事業により、交通渋滞の解消、緩和を図り、円滑な道路交通の促進が図られます。また、県事業である大場大枝線との交通アクセスが連結されることにより、交通環境および道路ネットワークの充実が図られます。

《年度別計画と指標》

年度別計画	取組内容				R5	R6	R7	R8	R9
		用地取得、設計、協議など				▶			
事業の 成果指標	用地取得率		現状値 (R3)		83.9%				
			目標値 (R9)		90.8%				
目標値	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度				
	84.8%	86.5%	87.1%	87.2%	90.8%				

《SDGs、総合戦略・国土強靱化地域計画との関連》

事業に関連する SDGs	 				
総合戦略	●	国土強靱化	1-1、1-4、3-1、3-2、3-3、5-1、7-1、8-2、8-3		

事業番号	191	担当課	道路建設課
事業名	街路整備事務（東埼玉道路、大場大枝線等の整備促進）	重点 P	—
		令和 7 年度 予算額	17,005 千円

【施策における取組】

施策に おける取組	都市計画道路や広域幹線道路（国道・県道）の整備
--------------	-------------------------

《事業の目的と概要等》

事業目的	◆ 市が取得した街路事業用地の適切な維持管理を行い、事業の推進を図るとともに、広域幹線道路(国道・県道)の早期完成などを関係機関に対して要望を行い、事業の促進を図るものです。
事業概要	◆ 主に、街路事業用地の除草や立入防護柵の設置など街路用地の維持管理や、街路に関する各種協議会の会費を負担するものです。 ◆ 広域幹線道路である東埼玉道路については、早期完成に向けての整備と圏央道までの延伸を積極的に国へ働きかけを行うとともに、大場大枝線や周辺市と連絡する上野長宮線の早期完成などを関係機関に対して要望するものです。
事業効果	◆ 本事業により、街路整備の推進および促進を図ることで、広域的な道路ネットワークが構築され、周辺地域の生活環境の向上と活性化が期待されます。

《年度別計画と指標》

年度別計画	取組内容				R5	R6	R7	R8	R9
		維持管理、協議、要望など				▶			
事業の 成果指標	広域幹線道路(国道・県道)の要望活動 件数（各 1 件／年）		現状値（R3）		2 件				
			目標値（R9）		2 件				
目標値	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度				
	2 件	2 件	2 件	2 件	2 件				

《SDGs、総合戦略・国土強靱化地域計画との関連》

事業に関連する SDGs	 				
総合戦略	●	国土強靱化	1-1、1-4、3-1、3-2、3-3、5-1、7-1、8-2、8-3		

事業番号	192	担当課	道路建設課
事業名	中央通り線整備事業	重点P	—
		令和7年度 予算額	230,581千円 (R6⇒R7 繰越 15,520千円を含む)

【施策における取組】

施策に おける取組	都市計画道路や広域幹線道路（国道・県道）の整備
--------------	-------------------------

《事業の目的と概要等》

事業目的	◆ 春日部駅東口へのアクセス向上と中心市街地の活性化およびにぎわいの創出を図るものです。
事業概要	◆ 本路線は、国道4号および国道16号から春日部駅東口へのアクセス道路として整備する主要幹線道路で、国道16号を起点に都市計画道路樋堀八丁目線を終点とする、総延長2,610メートル、幅員20メートルの道路です。 ◆ 現在は、都市計画道路袋陣屋線から神明通り線までの区間、延長300メートルについて整備を進めるものです。
事業効果	◆ 本事業により、都心環状道路・都心アクセス道路としての自動車交通の円滑な交通確保と、中心市街地における道路ネットワーク化、安心安全な歩行者・自転車空間の形成を図ります。 ◆ バリアフリー、ユニバーサルデザインや、滞留空間のデザインと演出に配慮した良好な環境づくりを進め、春日部駅を中心とした歩行者の回遊性を生み出すことで、まちの魅力づくり・にぎわいの創出が期待されます。

《年度別計画と指標》

年度別計画	取組内容				R5	R6	R7	R8	R9
	用地取得、設計、協議など				→				
事業の 成果指標	用地取得率			現状値 (R3)	69.8%				
				目標値 (R9)	94.1%				
目標値	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度				
	73.2%	75.2%	76.1%	92.3%	94.1%				

《SDGs、総合戦略・国土強靱化地域計画との関連》

事業に関連するSDGs	 		
総合戦略	●	国土強靱化	1-1、1-4、3-1、3-2、3-3、5-1、7-1、8-2、8-3

事業番号	193	担当課	道路建設課
事業名	春日部駅東西連絡道路整備事業	重点 P	—
		令和 7 年度 予算額	2,422 千円

【施策における取組】

施策に おける取組	都市計画道路や広域幹線道路（国道・県道）の整備
--------------	-------------------------

《事業の目的と概要等》

事業目的	◆ 中心市街地の利便性を高めつつ、だれもが安心・快適に歩いて回遊できるまちなかの交通環境を整えるものです。
事業概要	◆ 本路線は、連続立体交差事業と一体となり、新たに整備する道路で、春日部駅東口側と西口側を結ぶ主要幹線道路として、中央通り線(コープかすかベテラス付近)を起点とし、武里内牧線（医療センター交差点）を終点とする、総延長 600 メートル、幅員 16 メートルの都市計画道路です。 ◆ 中央通り線から市道 2-34 号線(東部地域振興ふれあい拠点施設付近)までの延長約 220 メートルを整備することで全線開通するものです。
事業効果	◆ 本事業により、春日部駅東西をつなぐ道路として、中心市街地における道路ネットワーク化、安心安全な歩行者・自転車空間の形成を図ります。 ◆ バリアフリー、ユニバーサルデザインや、滞留空間のデザインと演出に配慮した良好な環境づくりを進め、春日部駅を中心とした歩行者の回遊性を生み出すことで、まちの魅力づくり・にぎわいの創出が期待されます。

《年度別計画と指標》

年度別計画	取組内容				R5	R6	R7	R8	R9
		用地取得、設計、協議など					▶		
事業の 成果指標	用地取得率		現状値 (R3)		0%				
			目標値 (R9)		30%				
目標値	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度				
				10.0%	30.0%				

《SDGs、総合戦略・国土強靱化地域計画との関連》

事業に関連する SDGs	 				
総合戦略	●	国土強靱化	1-1、1-4、3-1、3-2、3-3、5-1、7-1、8-2、8-3		

※R7 中間見直しで追加

事業番号	194	担当課	道路建設課
事業名	道路整備事業	重点 P	重点⑤
		令和 7 年度 予算額	99,832 千円 (R6→R7 繰越 14,080 千円を含む)

【施策における取組】

施策に おける取組	幹線道路や生活道路の整備による都市機能の向上 安全で快適な道路環境の維持・促進
--------------	--

《事業の目的と概要等》

事業目的	◆ 生活道路や歩道および交通安全施設の整備を行い、だれもが安心・安全に利用できる道路の充実と利便性の向上を図るものです。
事業概要	◆ 地域の主要な生活道路を中心に、道路側溝の整備や歩道の整備、劣化した舗装の打替えなどを実施するものです。
事業効果	◆ 本事業の継続的な推進により、安心安全な生活道路の形成と地域の利便性向上が図られます。

《年度別計画と指標》

年度別計画	取組内容				R5	R6	R7	R8	R9
	側溝改修工事					[進捗バー]			
歩道整備工事					[進捗バー]				
道路舗装工事					[進捗バー]				
事業の 成果指標	整備工事の実施箇所数（累計） （令和 5 年度～令和 9 年度計画分）			現状値（R3）	0 か所				
				目標値（R9）	25 か所				
目標値	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度				
	5 か所	10 か所	15 か所	20 か所	25 か所				

《SDGs、総合戦略・国土強靱化地域計画との関連》

事業に関連する SDGs	 		
総合戦略	●	国土強靱化	1-1、1-4、3-1、3-2、3-3、5-1、7-1、8-2、8-3

事業番号	195	担当課	道路建設課
事業名	通学路安全対策・バリアフリー化事業	重点 P	重点⑤
		令和 7 年度 予算額	122,980 千円 (R6→R7 繰越 81,400 千円を含む)

【施策における取組】

施策に おける取組	幹線道路や生活道路の整備による都市機能の向上 安全で快適な道路環境の維持・促進
--------------	--

《事業の目的と概要等》

事業目的	◆ 通学路における安全対策の実施や駅周辺道路のバリアフリー化整備を行い、安心・安全な道路の充実と利便性の向上を図るものです。
事業概要	◆ 通学路における歩道などの整備、駅周辺道路を中心としたバリアフリー化整備を実施するものです。
事業効果	◆ 本事業の継続的な推進により、子どもや高齢者、障がい者までだれもが安心・安全に利用できる道路の形成と地域の利便性向上が図られます。

《年度別計画と指標》

年度別計画	取組内容				R5	R6	R7	R8	R9
	通学路安全対策工事					[進捗状況]			
バリアフリー化整備					[進捗状況]				
事業の 成果指標	バリアフリー化整備箇所の進捗率 (令和 5 年度～令和 9 年度計画分)			現状値 (R3)	0%				
				目標値 (R9)	100%				
目標値	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度				
	20.0%	40.0%	60.0%	80.0%	100%				

《SDGs、総合戦略・国土強靱化地域計画との関連》

事業に関連 する SDGs	 				
総合戦略	●	国土強靱化	1-1、1-4、3-1、3-2、3-3、5-1、7-1、8-2、 8-3		

事業番号	196	担当課	道路管理課
事業名	生活道路拡幅整備事業	重点 P	—
		令和 7 年度 予算額	104,626 千円

【施策における取組】

施策に おける取組	幹線道路や生活道路の整備による都市機能の向上
--------------	------------------------

《事業の目的と概要等》

事業目的	◆ 「春日部市開発事業の手続及び基準に関する条例」に基づき道路後退した道路用地の整備を行い、交通安全の充実および利便性の向上を図るものです。
事業概要	◆ 条例に基づき、生活道路の拡幅を進めるため、用地購入および道路整備を行うものです。
事業効果	◆ 生活道路の着実な整備により、火災時の避難路の確保など、市民生活の利便性、安全性が図られるものです。

《年度別計画と指標》

年度別計画	取組内容					R5	R6	R7	R8	R9
	道路後退箇所の用地購入						▶			
道路後退箇所の道路整備						▶				
事業の 成果指標	生活道路などの舗装率				現状値 (R3)	85.1%				
					目標値 (R9)	85.6%				
目標値	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度					
	85.2%	85.3%	85.4%	85.5%	85.6%					

《SDGs、総合戦略・国土強靱化地域計画との関連》

事業に関連する SDGs					
総合戦略	●	国土強靱化	1-1、1-4、3-1、3-2、3-3、5-1、7-1、8-2、8-3		



事業番号	198	担当課	道路管理課
事業名	ふじ通り藤棚修景事業	重点 P	重点⑤
		令和 7 年度 予算額	73,409 千円

【施策における取組】

施策に おける取組	安全で快適な道路環境の維持・促進
--------------	------------------

《事業の目的と概要等》

事業目的	◆ 本市の景観資源であるふじ通りの藤棚は、設置後 40 年以上が経過しており、劣化が進行していることから、修景および安全確保を目的として、藤棚の更新を行うものです。
事業概要	◆ 市道 1-8-1 号線（ふじ通り）の街路樹として設置された全長約 1 km におよぶ藤棚について、計画的に藤棚の更新を実施するものです。
事業効果	◆ 本事業の継続的な推進により、景観資源の保全と歩行空間の安全確保が図られます。

《年度別計画と指標》

年度別計画	取組内容				R5	R6	R7	R8	R9
		藤棚の更新工事				▶			
事業の 成果指標	藤棚更新延長の進捗率			現状値 (R3)	28.0%				
				目標値 (R9)	60.0%				
目標値	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度				
	30.0%	35.0%	40.0%	50.0%	60.0%				

《SDGs、総合戦略・国土強靱化地域計画との関連》

事業に関連する SDGs	 				
総合戦略	●	国土強靱化	1-1、1-4、3-1、3-2、3-3、5-1、7-1、8-2、8-3		



事業番号	200	担当課	道路建設課
事業名	橋りょう整備事業	重点 P	—
		令和 7 年度 予算額	685,603 千円 (R6→R7 繰越 239,680 千円を含む)

【施策における取組】

施策に おける取組	橋りょうの整備と長寿命化修繕の推進
--------------	-------------------

《事業の目的と概要等》

事業目的	◆ 市内の橋りょうについて、河川改修に伴う架け替えを計画的に進めることで、安心・安全に利用できる道路（橋りょう）の充実と利便性の向上を図るものです。
事業概要	◆ 一級河川古隅田川や新方川などについて、埼玉県が進める河川改修にあわせて、計画的に橋りょうの架け替え等を実施します。
事業効果	◆ 国の有利な補助金や県の負担金を活用して計画的に橋りょうの架け替えを推進することにより、事業費の縮減と平準化、安心・安全に利用できる道路（橋りょう）の充実と利便性の向上が図られます。

《年度別計画と指標》

年度別計画	取組内容				R5	R6	R7	R8	R9
		橋りょう架け替え工事				▶			
事業の 成果指標	設計委託、工事の進捗率（累計） （令和 5 年度～令和 9 年度計画分）			現状値（R3）	0 %				
				目標値（R9）	100 %				
目標値	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度				
	20.0%	40.0%	60.0%	80.0%	100%				

《SDGs、総合戦略・国土強靱化地域計画との関連》

事業に関連する SDGs	 				
総合戦略	●	国土強靱化	1-1、1-4、3-1、3-2、3-3、5-1、7-1、8-2、8-3		

事業番号	201	担当課	道路建設課
事業名	橋りょう長寿命化修繕事業	重点 P	—
		令和 7 年度 予算額	169,273 千円 (R6→R7 繰越 9,101 千円を含む)

【施策における取組】

施策に おける取組	橋りょうの整備と長寿命化修繕の推進
--------------	-------------------

《事業の目的と概要等》

事業目的	◆ 市内の橋りょうについて、長寿命化修繕を計画的に進めることで、安心・安全に利用できる道路（橋りょう）の充実を図るものです。
事業概要	◆ 市内の橋りょう（約 600 橋）について、橋りょう長寿命化修繕計画に基づいた計画的な維持修繕を推進します。
事業効果	◆ 国の有利な補助金を活用して計画的に維持修繕を推進することにより、事業費の縮減と平準化、安心・安全に利用できる道路（橋りょう）の充実が図られます。

《年度別計画と指標》

年度別計画	取組内容				R5	R6	R7	R8	R9
		橋りょう補修工事				▶			
事業の 成果指標	補修が完了した橋の数（累計）				現状値（R3）	0 橋			
					目標値（R9）	23 橋			
目標値	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度				
	1 橋	8 橋	13 橋	21 橋	23 橋				

《SDGs、総合戦略・国土強靱化地域計画との関連》

事業に関連する SDGs	 				
総合戦略	●	国土強靱化	1-1、1-4、3-1、3-2、3-3、5-1、7-1、8-2、8-3		

**施策 6-4-2 親しみのある公園の形成と緑化の推進**

**【施策の成果指標】**

		現状値 (R3)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標値 令和9年度
リニューアル 公園の利用頻 度の増加	45.4%	46.6%	47.2%	47.9%	48.5%	49.1%	
地域住民によ る美化協定公 園の増加	153 公園	155 公園	156 公園	157 公園	158 公園	159 公園	

**【施策における取組と事業】**

施策における取組		事業
1	計画的な緑の保全・緑化の推進	公園維持管理事業 緑化奨励補助金 (新) 中央町第1公園整備事業
2	公園の整備と維持管理	子育てふれあい公園リニューアル事業
3	市民参加による公園づくりと緑化の推進	都市公園等整備事業 公園施設更新事業

事業番号	202	担当課	公園緑地課
事業名	公園維持管理事業	重点 P	重点②・④
		令和 7 年度 予算額	448,302 千円

【施策における取組】

施策に おける取組	計画的な緑の保全・緑化の推進
	公園の整備と維持管理
	市民参加による公園づくりと緑化の推進

《事業の目的と概要等》

事業目的	◆ 既存公園の各施設の維持および施設機能向上のための修繕を行い、各公園等の安全対策、清掃、樹木の剪定等を行うことにより、公園利用者の安全を確保するものです。
事業概要	◆ 公園等における施設の修繕や安全対策、清掃および樹木の剪定等を行うことにより、利用者の安全を確保するものです。
事業効果	◆ 修繕、清掃および樹木の剪定等の適切な実施により、公園の安全管理、維持管理を行うことができます。

《年度別計画と指標》

年度別計画	取組内容				R5	R6	R7	R8	R9
	既存公園の維持管理					[Progress bar]			
美化協定の締結および更新					[Progress bar]				
指定管理制度の活用					[Progress bar]				
事業の 成果指標	美化協定制度の周知回数			現状値 (R3)	年 2 回				
				目標値 (R9)	年 5 回				
目標値	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度				
	年 4 回	年 5 回	年 5 回	年 5 回	年 5 回				

《SDGs、総合戦略・国土強靱化地域計画との関連》

事業に関連する SDGs	  
総合戦略	● 国土強靱化 1-2、7-1、7-2、8-5

事業番号	203	担当課	公園緑地課
事業名	緑化奨励補助金	重点P	—
		令和7年度 予算額	3,189千円

【施策における取組】

施策に おける取組	計画的な緑の保全・緑化の推進 市民参加による公園づくりと緑化の推進
--------------	--------------------------------------

《事業の目的と概要等》

事業目的	◆ 民有地における緑化の推進および保全を図るものです。
事業概要	◆ 民有地における緑化の推進および保全を図るため、地域の緑化活動、保存樹木等の維持管理、生垣の設置に対して助成するものです。
事業効果	◆ 民有地における緑化の推進および保全を図ることで、緑豊かなまちをつくるものです。

《年度別計画と指標》

年度別計画	取組内容			R5	R6	R7	R8	R9
		緑化協定等助成金交付			▶			
	保存樹木等助成金交付			▶				
	生垣設置奨励金交付			▶				
事業の 成果指標	制度の周知回数		現状値 (R3)	年1回				
			目標値 (R9)	年3回				
目標値	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			
	年3回	年3回	年3回	年3回	年3回			

《SDGs、総合戦略・国土強靱化地域計画との関連》

事業に関連するSDGs			
総合戦略	●	国土強靱化	1-2、7-1、7-2、8-5

事業番号	204	担当課	公園緑地課
事業名	(新) 中央町第1公園整備事業	重点P	重点②・④
		令和7年度 予算額	0千円

【施策における取組】

施策に おける取組	計画的な緑の保全・緑化の推進
	公園の整備と維持管理
	市民参加による公園づくりと緑化の推進

《事業の目的と概要等》

事業目的	◆ 本市中心市街地に整備される新たな公園としてあらゆる世代が集い出合いや交流が生まれる魅力ある公園の整備を実施するものです。
事業概要	◆ 市立医療センターの建築に伴い廃止した公園に代わる公園として、旧市役所本庁舎跡地に新たな公園を整備するものです。 ◆ 公園利便性の向上や財政負担軽減を図るため、Park-PFI（公募設置管理制度）や指定管理制度を活用して、設計・建設・管理運営を官民連携で取り組んで行くものです。
事業効果	◆ こどもの居場所や遊び場になることで、こどもの健やかな成長や子育て支援、また、休憩や運動の場になることで、健康保持につながるものです。 ◆ 地域活動の場になることで、コミュニティ醸成、また、雨水流出の緩和や災害時の避難の場になることで、地域の防災力の向上につながるものです。 ◆ 適切に緑が配置された場になることで、環境保全、環境衛生、良好な街並みの形成につながるものです。

《年度別計画と指標》

年度別計画	取組内容		R5	R6	R7	R8	R9
		(新) 中央町第1公園の設計				■	
	(新) 中央町第1公園の整備工事						■
事業の 成果指標	「親しみのある公園の形成と緑化の推進」への満足度平均スコア(市民意識調査)		現状値 (R3)	2.863			
			目標値 (R9)	2.905			
目標値	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
			2.888	2.897	2.905		

《SDGs、総合戦略・国土強靱化地域計画との関連》

事業に関連するSDGs	  
総合戦略	● 国土強靱化 1-2、7-1、7-2、8-5

※R7 中間見直しで追加

事業番号	205	担当課	公園緑地課
事業名	子育てふれあい公園リニューアル事業	重点 P	重点②・④
		令和 7 年度 予算額	35,177 千円

【施策における取組】

施策に おける取組	公園の整備と維持管理 市民参加による公園づくりと緑化の推進
--------------	----------------------------------

《事業の目的と概要等》

事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 街区公園の多くは、整備されてからかなりの時間が経過しており、遊具などの老朽化が著しく、施設・設備の維持管理に窮していることから、子育て世代や高齢者の方々に不便をきたしています。</li> <li>◆ 地域住民が集い、憩う身近な施設として、こどもから高齢者までが一緒に触れ合う整備に取り組むことが肝要と考えています。</li> <li>◆ そこで、「子育てしやすいまちの実現」と「高齢者がいきいきとすごせるまちの実現」に向け、地域の特色ある公園として街区公園をリニューアルするものです。</li> </ul>
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 公園が持つ市民の多様な余暇活動を支える場の提供等の機能を維持したうえで、市が掲げる「子育てしやすいまちの実現」や「高齢社会に対応したまちの実現」に対応した公園を市民参加により、リニューアルを進めていくものです。</li> </ul>
事業効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 住民との意見交換を経てから立案するため、より住民ニーズが整備計画に反映されるとともに、リニューアルの目的である、こどもからお年寄りまでの公園の利用を促すことにより、地域活性化につながります。</li> <li>◆ 施設や遊具の更新により公園の安全性が向上するとともに、バリアフリー化やユニバーサルデザインを採用し使いやすい公園整備が図られます。</li> </ul>

《年度別計画と指標》

年度別計画	取組内容			R5	R6	R7	R8	R9
	公園の再整備			▶				
事業の 成果指標	リニューアル公園の満足度平均スコア (地域アンケート調査)		現状値 (R6)	-				
	※R7 中間見直しで目標値変更		目標値 (R9)	3.5 以上 (平均)				
目標値	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度			
	3.0 以上 (平均)	3.0 以上 (平均)	3.5 以上 (平均)	3.5 以上 (平均)	3.5 以上 (平均)			

《SDGs、総合戦略・国土強靱化地域計画との関連》

事業に関連する SDGs	  		
総合戦略	●	国土強靱化	1-2、7-1、7-2、8-5

事業番号	206	担当課	公園緑地課
事業名	都市公園等整備事業	重点 P	重点②・④
		令和 7 年度 予算額	19,737 円

【施策における取組】

施策に おける取組	公園の整備と維持管理
--------------	------------

《事業の目的と概要等》

事業目的	◆ 公園施設の整備、計画策定など公園整備につながる事業を行うものです。
事業概要	◆ 良好で充実した公園緑地環境を提供または保全し、市民に安全で快適な憩いの場を提供するものです。
事業効果	◆ 都市公園の持続性の確保や公園施設の安全安心を図ることで、市民の生活環境・社会福祉に寄与するものです。

《年度別計画と指標》

年度別計画	取組内容				R5	R6	R7	R8	R9
		(新) 中央町第 1 公園の基本計画				[Progress bar]			
	(新) 中央町第 1 公園の事業者公募				[Progress bar]				
	公園の用地の取得				[Progress bar]				
事業の 成果指標	「親しみのある公園の形成と緑化の推進」への満足度平均スコア(市民意識調査) ※R7 中間見直しで目標値変更				現状値 (R3)		2.863		
					目標値 (R9)		2.905		
目標値	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度				
	2.863 以上	2.863 以上	2.888	2.897	2.905				

《SDGs、総合戦略・国土強靱化地域計画との関連》

事業に関連する SDGs	  		
総合戦略	●	国土強靱化	1-2、7-1、7-2、8-5

事業番号	207	担当課	公園緑地課
事業名	公園施設更新事業	重点 P	重点②・④
		令和 7 年度 予算額	78,666 千円

【施策における取組】

施策に おける取組	公園の整備と維持管理
--------------	------------

《事業の目的と概要等》

事業目的	◆ 公園施設の計画的な維持管理を図るため、施設更新工事を実施するものです。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 都市公園等に設置されている遊具、施設等の改修を主に行う事業です。公園に設置された施設については、年数の経過とともに老朽化や故障が発生しており、長寿命化対策等計画的な施設更新が必要となっています。</li> <li>◆ 少子高齢化等の社会情勢の変化による要望の多様化を踏まえて、良好な公園緑地環境の保全・再整備を行い、市民に安全で快適な憩いの場を提供するものです。</li> </ul>
事業効果	◆ 公園緑地・広場の安全と機能向上につながるものです。

《年度別計画と指標》

年度別計画	取組内容				R5	R6	R7	R8	R9
		公園遊具の更新				▶			
事業の 成果指標	「親しみのある公園の形成と緑化の推進」への満足度平均スコア(市民意識調査) ※R7 中間見直しで目標値変更				現状値 (R3)	2.863			
					目標値 (R9)	2.905			
目標値	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度				
	2.863 以上	2.863 以上	2.888	2.897	2.905				

《SDGs、総合戦略・国土強靱化地域計画との関連》

事業に関連する SDGs	  		
総合戦略	●	国土強靱化	1-2、7-1、7-2、8-5

**施策 6-4-3 総合的な治水対策の推進**

**【施策の成果指標】**

	現状値 (R3)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標値 令和9年度
100mm/h安心プランで実施する事業における雨水処理量	6.44 m <sup>3</sup> /s	6.44 m <sup>3</sup> /s	6.44 m <sup>3</sup> /s	6.44 m <sup>3</sup> /s	11.44 m <sup>3</sup> /s	11.44 m <sup>3</sup> /s
雨水流出抑制施設の抑制量	113,944 m <sup>3</sup>	117,900 m <sup>3</sup>	119,900 m <sup>3</sup>	121,900 m <sup>3</sup>	123,900 m <sup>3</sup>	125,900 m <sup>3</sup>

**【施策における取組と事業】**

施策における取組	
1	流域対策の推進
2	河川や水路等の整備、改修
3	河川施設等の適正な維持管理
4	国・県管理の河川整備の促進

事業
治水対策事業
下水道事業（雨水）
河川施設長寿命化修繕事業

事業番号	208	担当課	河川課
事業名	治水対策事業	重点P	—
		令和7年度 予算額	57,200千円

【施策における取組】

施策に おける取組	流域対策の推進
	河川や水路等の整備、改修
	国・県管理の河川整備の促進

《事業の目的と概要等》

事業目的	◆ 低平地における浸水・冠水被害の解消および内水被害の軽減対策として、準用河川および排水路、雨水貯留施設を整備するものです。
事業概要	◆ 市内の準用河川（9河川）の護岸改修、排水路の改修、雨水貯留施設の整備を行い市内全域の浸水・冠水被害の解消および内水被害の軽減を図ります。
事業効果	◆ 未改修水路の改修や水路、雨水貯留施設の整備を行い、浸水、冠水被害の軽減を図ります。

《年度別計画と指標》

年度別計画	取組内容				R5	R6	R7	R8	R9
		雨水流出抑制施設整備				[Progress bar]			
	準用河川改修工事				[Progress bar]				
事業の 成果指標	都市計画法第32条の同意件数			現状値（R3）	51件				
				目標値（R9）	123件				
目標値	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度				
	75件	87件	99件	111件	123件				

《SDGs、総合戦略・国土強靱化地域計画との関連》

事業に関連するSDGs	 
総合戦略	● 国土強靱化 1-2、7-2、8-2、8-5

事業番号	209	担当課	河川課
事業名	下水道事業（雨水）	重点P	—
		令和7年度 予算額	1,953,119千円

【施策における取組】

施策に おける取組	流域対策の推進 国・県管理の河川整備の促進
--------------	--------------------------

《事業の目的と概要等》

事業目的	◆ 公共下水道（雨水）で位置づけられているポンプ場の機器更新、建屋の耐震補強や雨水幹線を整備するものです。
事業概要	◆ 計画に基づく公共下水道（雨水）幹線の整備、雨水貯留施設の整備、各ポンプ場（8か所）の機器更新、建屋の耐震補強を実施し、市内の内水被害軽減を図ります。
事業効果	◆ 公共下水道（雨水）の計画に基づき、水路、雨水貯留施設の整備を行い、浸水、冠水被害の軽減を図ります。

《年度別計画と指標》

年度別計画	取組内容				R5	R6	R7	R8	R9
		100mm/h 安心プラン				[Progress bar]			
	公共下水道会之堀第一幹線整備				[Progress bar]				
	春日部市公共下水道ストックマネジメント計画				[Progress bar]				
事業の 成果指標	公共下水道雨水幹線の整備延長			現状値（R3）	678m				
				目標値（R9）	1,650m				
目標値	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度				
	704m	1,050m	1,450m	1,550m	1,650m				

《SDGs、総合戦略・国土強靱化地域計画との関連》

事業に関連するSDGs	  		
総合戦略	●	国土強靱化	1-2、7-2、8-2、8-5

事業番号	210	担当課	河川課
事業名	河川施設長寿命化修繕事業	重点 P	—
		令和 7 年度 予算額	953,799 千円

【施策における取組】

施策に おける取組	河川や水路等の整備、改修
	河川施設等の適正な維持管理
	国・県管理の河川整備の促進

《事業の目的と概要等》

事業目的	◆ 河川施設の多くは、1975 年（昭和 50 年）以降に整備され、施設の老朽化に伴い維持管理費用の増大が見込まれることから、2018 年度（平成 30 年度）に策定した、春日部市都市インフラマネジメント河川計画の第 1 期計画（2019 年度（令和元年度）～2029 年度（令和 10 年度））に基づき、将来にわたり持続可能な維持管理・更新を実現するために、施設ごとに戦略的な再生と老朽化対策の推進を図ります。
事業概要	◆ 排水機場等の主要な河川施設について、重要度や老朽化の進行具合などから優先順位を決定し、維持管理費の縮減と施設の長寿命化を図るために、予防保全型の河川施設を計画的に更新するものです。
事業効果	◆ 更新費用の縮減と平準化により、将来の維持管理費の約 3 割を縮減できます。 ◆ 将来にわたる河川施設の安全性が確保されます。

《年度別計画と指標》

年度別計画	取組内容				R5	R6	R7	R8	R9
		河川施設（ポンプやゲート等）の更新工事				▶			
事業の 成果指標	河川施設（ポンプやゲート等）の更新の 割合		現状値（R3）		16.0%				
			目標値（R9）		78.0%				
目標値	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度				
	42.0%	56.0%	68.0%	75.0%	78.0%				

《SDGs、総合戦略・国土強靱化地域計画との関連》

事業に関連する SDGs	 		
総合戦略	●	国土強靱化	1-2、7-2、8-2、8-5

## 政策 6 – 5 安定した水供給と適切な水処理ができるまちをつくる

### 施策 6-5-1 安全で安定した上下水道の充実

#### 【施策の成果指標】

	現状値 (R3)	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	目標値 令和 9 年度
有収率	91.0%	91.5%	92.0%	92.5%	93.0%	93.5%
水洗化率	97.1%	97.3%	97.4%	97.5%	97.6%	97.7%

#### 【施策における取組と事業】

施策における取組		事業
1	安全で安定した水道水の供給	水質管理
2	公共下水道の維持管理と接続の促進	水道施設維持管理事業
3	災害対策の充実	水道施設設備更新耐震化事業
		下水道施設老朽化対策事業
		公共下水道普及推進事業
4	経営の健全化	下水道施設地震対策事業

事業番号	211	担当課	工務課
事業名	水質管理	重点P	—
		令和7年度 予算額	292,724千円

【施策における取組】

施策に おける取組	安全で安定した水道水の供給 経営の健全化
--------------	-------------------------

《事業の目的と概要等》

事業目的	◆ 原水や県水の状況に応じた浄水施設や配水施設の運転管理を行い、安全な水道水を安定的に供給します。
事業概要	◆ 本市では埼玉県企業局から購入した水と、自己水源である井戸より取水し浄化した水を混合して配水しています。安定した配水のため、浄水場、配水場、井戸等は24時間の有人管理により運転しています。 ◆ 配水区域の末端に位置する給水栓では、法令で義務付けられている毎日および定期の水質検査を行い、基準を満たしているか確認を行うほか、本市の実態に合わせた項目も監視し、安全な水の供給に努めます。
事業効果	◆ 水量や水質の変化に対応しながら、安全な水道水を安定的に供給します。

《年度別計画と指標》

年度別計画	取組内容			R5	R6	R7	R8	R9
	水質検査計画				[Progress bar]			
浄水場運転管理				[Progress bar]				
事業の 成果指標	定期検査における水質基準項目適合率			現状値 (R3)	100%			
				目標値 (R9)	100%			
目標値	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			
	100%	100%	100%	100%	100%			

《SDGs、総合戦略・国土強靱化地域計画との関連》

事業に関連するSDGs	 		
総合戦略	—	国土強靱化	2-3、5-3、5-4、8-2

事業番号	212	担当課	施設管理課
事業名	水道施設維持管理事業	重点 P	—
		令和 7 年度 予算額	199,319 千円

【施策における取組】

施策に おける取組	安全で安定した水道水の供給 経営の健全化
--------------	-------------------------

《事業の目的と概要等》

事業目的	◆ 漏水などによる不明水を減らし、安定した水道水を供給することで有収率の向上を目指します。
事業概要	◆ 市内の配・給水管は老朽化が進み漏水件数も増加しているため、漏水箇所の早期発見と迅速な修繕対応を行い、適切な維持管理を進めます。
事業効果	◆ 将来にわたって安定的な水道水の供給を継続することで、健全な経営が図られます。

《年度別計画と指標》

年度別計画	取組内容				R5	R6	R7	R8	R9
		給水管および配水管の漏水調査を実施				▶			
	漏水箇所の迅速な修繕				▶				
	給水装置の適切な設計審査および指導				▶				
事業の 成果指標	発見された漏水の修繕率			現状値 (R3)	92.9%				
				目標値 (R9)	100%				
目標値	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度				
	100%	100%	100%	100%	100%				

《SDGs、総合戦略・国土強靱化地域計画との関連》

事業に関連する SDGs	 				
総合戦略	—	国土強靱化	2-3、5-3、5-4、8-2		

事業番号	213	担当課	工務課
事業名	水道施設設備更新耐震化事業	重点 P	—
		令和 7 年度 予算額	2,266,970 千円

【施策における取組】

施策に おける取組	安全で安定した水道水の供給
	災害対策の充実
	経営の健全化

《事業の目的と概要等》

事業目的	◆ 平時からの備えとして、老朽化した浄水場の機械電気設備の更新や水道管路・浄水場施設の耐震化を進め、災害時においても水道水の安定供給を図ります。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 地震などの災害時には、安全で安心な水道水を配水池にストックし、配水するための浄水場施設の耐震化が必要です。また、浄水場の機械電気設備は、経年劣化により故障の発生確率が高まります。</li> <li>◆ なかでも受変電設備は、耐用年数が 20 年程度と短く故障が生じた場合、浄水場の配水ポンプが停止し水道水の供給ができなくなる可能性があります。</li> <li>◆ 現在、市内 5 つの浄水場の受変電設備のうち、4 つの浄水場が耐用年数を超過していることから、まずは浄水場施設の耐震化に向けて機械電気設備の更新を優先的に進めるとともに、基幹管路や病院などの重要給水施設に配水する管路の耐震化を計画的に行うものです。</li> </ul>
事業効果	◆ 機械電気設備の計画的な更新と水道管路の耐震化により、平時の安定供給能力の向上と災害時にも水道水の確保と配水が可能となります。

《年度別計画と指標》

年度別計画	取組内容				R5	R6	R7	R8	R9
	浄水場受変電設備更新					▶			
水道管路耐震化・更新					▶				
事業の 成果指標	耐用年数を超えていない受変電設備の 数		現状値 (R3)		20.0%				
			目標値 (R9)		60.0%				
目標値	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度				
	40.0%	40.0%	40.0%	40.0%	60.0%				

《SDGs、総合戦略・国土強靱化地域計画との関連》

事業に関連する SDGs					
総合戦略	—	国土強靱化	2-3、5-3、5-4、8-2		

事業番号	214	担当課	施設管理課
事業名	下水道施設老朽化対策事業	重点 P	—
		令和 7 年度 予算額	99,493 千円

【施策における取組】

施策に おける取組	公共下水道の維持管理と接続の促進 経営の健全化
--------------	----------------------------

《事業の目的と概要等》

事業目的	◆ 老朽化していく下水道施設に対して、計画的、効率的な管理を行い、「施設の安全性の確保」と「施設の良い状態維持」を図ります。
事業概要	◆ 下水道施設の重要度や経年による損傷発生を考慮した点検、調査から、緊急性の高い損傷や状況に対して、更生工事等の対策を行います。対策は5年毎に実施計画を策定し進めます。次期実施計画を2026年度（令和8年度）に策定します。
事業効果	◆ 「施設の安全性の確保」、「施設の良い状態維持」が図られます。

《年度別計画と指標》

年度別計画	取組内容		R5	R6	R7	R8	R9
		下水道施設の点検、調査					
	マンホール、管きよの更生工事						
	次期実施計画策定、実施設計						
事業の 成果指標	マンホールの更生工事の実施率 (令和8年度までの対策工事計画数： 35基) ※R7 中間見直しで目標値変更		現状値 (R3)	0%			
			目標値 (R9)	100%			
目標値	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
	25.7%	51.4%	100%	100%	100%		

《SDGs、総合戦略・国土強靱化地域計画との関連》

事業に関連する SDGs			
総合戦略	—	国土強靱化	2-3、5-3、5-4、8-2

事業番号	215	担当課	施設管理課
事業名	公共下水道普及推進事業	重点 P	—
		令和 7 年度 予算額	3,812 千円

【施策における取組】

施策に おける取組	公共下水道の維持管理と接続の促進 経営の健全化
--------------	----------------------------

《事業の目的と概要等》

事業目的	◆ 公共下水道への接続を推進することにより、生活地域の「公共衛生の向上」や、河川等の「公共用水域の水質保全」を図ります。
事業概要	◆ 公共下水道供用区域内の未接続世帯を対象に個別訪問を行い、接続への啓発、促進を行います。あわせて、水洗化資金の融資制度についても紹介を行っています。
事業効果	◆ 「公共衛生の向上」、「公共用水域の水質保全」が図られます。

《年度別計画と指標》

年度別計画	取組内容					R5	R6	R7	R8	R9
		未接続世帯への個別訪問による水洗化推進					▶			
	改造資金融資あっせん制度					▶				
事業の 成果指標	公共下水道への接続数 (令和 5 年度～令和 9 年度で 250 世帯 の接続増)				現状値 (R3)	0 世帯				
					目標値 (R9)	250 世帯				
目標値	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度					
	50 世帯	100 世帯	150 世帯	200 世帯	250 世帯					

《SDGs、総合戦略・国土強靱化地域計画との関連》

事業に関連 する SDGs					
総合戦略	—	国土強靱化	2-3、5-3、5-4、8-2		

事業番号	216	担当課	施設管理課
事業名	下水道施設地震対策事業	重点P	—
		令和7年度 予算額	199,038千円

【施策における取組】

施策に おける取組	災害対策の充実 経営の健全化
--------------	-------------------

《事業の目的と概要等》

事業目的	◆ 大規模地震時における下水道施設の「流下機能の確保」や、液状化で生じるマンホールの浮き上がりを防止することで、緊急輸送道路等の「交通機能の維持」を図ります。
事業概要	◆ 大規模地震時の被害を最小限とするため、マンホールの浮上防止、マンホールと下水道管継手部の耐震化工事を行います。対策は5年毎に実施計画を策定し進めます。次期実施計画を2026年度（令和8年度）に策定します。
事業効果	◆ 「流下機能の確保」、「交通機能の維持」が図られます。

《年度別計画と指標》

年度別計画	取組内容		R5	R6	R7	R8	R9
		マンホールの浮上防止、継手部の耐震化工事					
	次期実施計画策定、実施設計						
事業の 成果指標	マンホールの浮上防止工事の実施率 (令和8年度までの対策工事計画数： 92基) ※R7 中間見直しで指標変更	現状値 (R3)	0%				
		目標値 (R9)	100%				
目標値	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
			63.0%	100%	100%		

《SDGs、総合戦略・国土強靱化地域計画との関連》

事業に関連するSDGs				
総合戦略	—	国土強靱化	2-3、5-3、5-4、8-2	